

エ 道・坂とその由来 [E -]

- ・ E - 1 県道77号線（平塚・松田線）
- ・ E - 2 市道15号線（上吉沢・土屋線）
- ・ E - 3 曾屋道
- ・ E - 4 小田原街道
- ・ E - 5 大磯街道
- ・ E - 6 市道（一般道）
- ・ E - 7 浅間坂（せんゑ門坂） 上惣領
- ・ E - 8 赤 坂 上惣領
- ・ E - 9 七曲がり 上惣領
- ・ E - 10 花籠（はなかご）の坂 惣領分
- ・ E - 11 中道（なかみち）の坂 惣領分
- ・ E - 12 赤 坂 惣領分
- ・ E - 13 ばんだ坂 遠藤原
- ・ E - 14 長 坂 小 熊
- ・ E - 15 関口坂 小 熊
- ・ E - 16 十二社坂 上庶子分
- ・ E - 17 牢 坂（どう坂） 中庶子分
- ・ E - 18 西ノ窪の坂 中庶子分
- ・ E - 19 袖切坂（用心坂・ヨウジ坂） 下庶子分
- ・ E - 20 鷺 坂 寺分下
- ・ E - 21 おおまん坂 早 田

[由 来]

1 ・ 県道77号線（平塚・松田線）（E - 1）

土屋における幹線であり、土屋地区内では土屋橋を起点とし、七国峠が終点になっています。昭和41年（1966）ころには完全舗装となり、地下には県営水道・通信用市外ケーブル・都市ガス管等が埋設され、地上ではこれに沿って電力線、通信用市内ケーブル等が走っています。最近では、他の幹線道路の迂回道としての車両と、砂利土運搬用の大型ダンプカーやゴルフ場への自動車が増加してきました。

この道路は、狭く曲がりくねった所が多いうえスピードを出す車両が多いため、交通事故の発生件数も年々上昇傾向にあります。

また、大型ダンプカー等は高スピードと交差点で大きなクラクションを鳴らして通過するため、道路周辺住民への騒音公害をまき散らしています。

現在県では、車道7m・両側歩道3mの拡幅工事を計画中であり、その一部が進行中です。

幅員5.5m。道路延長5.6km。アスファルト完全舗装。

2 ・市道15号線（上吉沢・土屋線）（E-2）

市の幹線道路で、上吉沢の中沢橋を起点に土屋中庶子分の座禅川橋付近を終点としています。昭和36年（1961）ころまでは、庶子分から早田を経て人増に至る道は、字堀切と字西ノ谷の境にあった大きな松の木（通称：一本松）を通り、向坂を下りさらに山を登らなければ人増に至ることができませんでした。それまで市道は上吉沢の中沢橋から人増まで走っていましたが、人増から一部旧道に沿って山を切り開き、中庶子分まで現在の市道を完成させました。これにより土沢地区の相互交流も一段と盛んになってきました。
幅員8m・道路延長1.6km（人増～中庶子分）・アスファルト完全舗装。

3 ・曾屋道（E-3）

明治初期に作成された地図にその名が見えます。南金目神社下を通る金目川沿いの道が、寺分の石浜・根下・宮ヶ崎・小熊・小熊原を経由して秦野市下大槻へと通じていました。今も当時の道が生かされています。現在の一般市道13号線の一部がそれに当たります。

4 ・小田原街道（E-4）

明治初期に作成された地図にその名が見えます。中井町から土屋へは2ルートありますが、そのひとつは中井町から土屋字清見原のところに出るルートで、ここから遠原・遠藤原・一本松・舞ヶ窪を経て曾屋道と交差して、関口・小熊下を通り金目川を渡って、秦野市の欠ノ上へと通じます。この街道は、昔から重要な道として利用されてきました。戦国の時代は、甲冑を纏った武者達の往来があり、その道を通ると、その当時の人に見えるような気がします。江戸時代に入り「大山信仰」が盛んになって、大山詣での人達でにぎわうようになったので、「大山道」とも言われています。現在でも夏の盆山の時期には、遠藤原集落では、「大山灯籠」を灯しています。現在の一般市道13号線の一部がそれに当たります。もう一つのルートは大磯街道です。

5 ・大磯街道（E-5）

明治初期に作成された地図にその名が見えます。小田原街道の入口から南へ、土屋字花野・富士見・丸山・若山・根府川・高見・塩汲・大原・萩窪を経て、大磯・二宮へと通じています。別名二宮街道とか塩海（シボミ）道と呼ばれています。

現在の一般市道13号線の一部がそれに当たります。

6 ・市道（一般道）（E-6）

土屋地区内の市道（一般道）認定路線は、56路線あり、主な路線は次のとおりです。また、この認定路線は、既設の農道や生活道路からのものや、新設された道路を市が市道として管理の対象とするものです。

（平塚市道認定路線図2 平成7年12月による）

NO	路線名	総延長 (m)	幅員 (m)	* 始点 ~ 終点
①	土屋1号線	809.1	3.70~16.30	* 字田代・富士見台病院～字石浜1366 (寺分下)～滝沢橋～金目川
②	土屋3号線	1420.7	3.50~10.40	* 字石浜1366 (寺分下)～字根下1726 (寺分中)～ 字土屋窪1771～字上稻荷谷1939 (寺分上)
③	土屋4号線	436.9	3.70~6.30	* 字粟久保1451～寺分大橋～字二枡免1406・寺分四っ角
④	土屋5号線	348.5	4.30~10.10	* 上人増2198・JA土沢支所～字上人増2522
⑤	土屋9号線	592.4	3.50~10.10	* 字榎木窪1741 (寺分正藏院付近)～字鴻之巣 (県トラック協会)
⑥	土屋10号線	945.7	2.50~12.55	* 字二枡免1402・寺分四っ角～字鍛冶ヶ窪～字榎木窪～字梨子木窪 ～字石橋2286・早田寺前バス停
⑦	土屋11号線	706.4	4.20~9.00	* 字石橋2286・早田寺前バス停～字松ヶ峯2449
⑧	土屋13号線	4111.6	1.90~10.20	* 字堂ヶ山160～字関口 (小熊)～字舞ヶ窪 (遠藤原)～字清見原 (惣 領分)～字富士見4578 [旧曾屋道・小田原街道・大磯街道]
⑨	土屋18号線	864.9	7.00~9.50	* 字小熊237～字長坂 (遠藤原)
⑩	土屋20号線	1335.3	7.40~11.70	* 字寺田1124～字ビクニ塚～字東遠藤原～字遠藤原535
⑪	土屋24号線	1083.3	3.15~6.40	* 字八反田脇3111・琵琶入口～字琵琶2711・びわ青少年の家
⑫	土屋28号線	730.9	6.40~11.20	* 字峯山4034・土屋霊園入口～字深谷4234・土屋霊園

- 7 ・浅間坂（せんゑ門坂）（E-7） 上惣領
字若山にあり、上屋入口からこの坂を通り、七国峠近くにある浅間さんに至る急な坂です。石黒せんゑ門という人が土地を寄付したので「せんゑ門坂」とも言われています。
- 8 ・赤坂（E-8） 上惣領
字根府川にあり、赤土の急な坂でしたが、現在はゴルフ場内で拡幅改修され使用されています。
- 9 ・七曲がり（E-9） 上惣領
字愛宕裏にあり、曲がりくねった急な坂で、下りきると清水がわき出ている「いのま」に至ります。
- 10 ・花籠（はなかご）の坂（E-10） 惣領分
字清見原にあり、土屋霊園入口から登っていくと、周囲が雑木林になっていて、登りつめると旧小田原街道（花籠の台）に出ます。
- 11 ・中道（なかみち）の坂（E-11） 惣領分
字駒ヶ滝・遠藤にあり、惣領分上谷の集落から遠藤原に至る三つの坂のうち、真ん中にあるところから、その名が付けられたと思われます。花籠の坂と同じで周囲が深い雑木林になっています。
- 12 ・赤坂（あかさか）（E-12） 惣領分
字駒ヶ滝にあり、上惣領の赤坂と同じ坂名です。遠藤原に至る坂で、坂の途中左手に「駒ヶ滝」が、右手の土手（まま）に「大庭景親臣下戦死霊碑」（大正10年岩本和吉氏建立）があります。登り詰めると、遠藤原ののどかな畑作風景が一面に広がります。
- 13 ・ばんた坂（E-13） 遠藤原
旧小田原街道の字一本松にあり、昔「火の番」や泥棒の警戒のため、この坂の下に番屋が置かれたので、この坂をばんた（番太）坂と呼ばれたと思われます。
- 14 ・長坂（E-14） 小熊
字長坂にあり、県動物保護センターの裏手にあります。現在は、一般市道18号線がその南に走っており、ゆるやかな長い坂です。
- 15 ・関口坂（E-15） 小熊
旧小田原街道の字小熊下から字関口へ通じる急な坂です。

16 ・十二社坂 (E-16) 上庶子分

字十二社にあり、長く急な曲がりくねった坂で、登りつめると字東遠藤原に出て、遠藤原の集落へ至ります。

17 ・牢坂(どう坂) (E-17) 中庶子分

字寺窪にあり、中庶子分自治会館から水呑地蔵に至る急な坂をいいます。

鎌倉時代から室町時代の頃にかけて、捕虜になった者や処刑人を収容した牢屋が、水呑地蔵の近くにあったので、この坂を牢坂と呼んでいます。

また、この坂を「どうざか」とも呼んでいます。

18 ・西ノ窪の坂 (E-18) 中庶子分

字西ノ窪にあり、字寺窪から字ミシズに至る、大変急な坂です。

19 ・袖切坂(用心坂・ヨウジ坂) (E-19) 下庶子分

字木舟と字堂ヶ山の境にある狭くて急な坂で、小石が多くあり、つまずいたり・ころんだりし易く「ころんだ時はそこに袖をひとつ切って置いてくる」という言い伝えがあります。これは十分注意をするようにという意味で用心坂(ようじんざか)とも呼んでいます。

また、この坂を登りつめた左手に、字ヨウジが有るところから、ヨウジ坂とも呼ばれています。坂を登り切った台地は、昔「流騎馬」や「競馬」を行った馬場(鉄砲馬場・椿馬場とも言われる)があつて、流騎馬の矢が飛んでくるのを、用心するようにという意味もあるようです。

20 ・鷺坂 (E-20) 寺分下

字鷺坂と字鷺田の境にあつて、雑木林に入り曲がりくねった急坂です。

金目・吉沢に通じる重要な道でした。また、この坂を「さんざか」とも呼んでいます。

21 ・おおまん坂 (E-21) 早田

字出口と字松ヶ峯の境にある、長く急な坂です。この坂は、琵琶や早田の集落から人増に至る重要な坂です。

